



入管の手続き踏まず来し黄砂

竹下和宏

入管手続きを無視しているからね。そろそろ嚴重注意の上、
場合によっては入国を拒否しよう。



啓蟄の鼻毛句会に出てきたか

加藤潤子

うっかり、よくあることよ。マスクも外してよくなった今、くれぐれ
も注意せにやあいかん。なぬ鼻毛が勝手に句会に出たのか。
なら仕方あるまい。



若布茹で化学変化のお勉強

山内 更

「先生、理科の時間なのになぜ味噌汁を用意するんですか」
「身の周りに勉強の題材があるんだよ。誰だ若布食べたのは」
「胃袋で変化させます」。



日脚伸びちよつと巴里まで宇宙迄

西野周次

巴里までとは凄いね。更に宇宙までとは、その発想が楽しい。だけど予算は大丈夫だろうね。片道切符しか買えないんじゃないかなあ困るからねえ。



日めくりの下で立春出番待つ

藤森荘吉

出番が近づくのを息をひそめて待っていたんだらう。いざ、その日となり、「日めくりの下」から「暦の上」では春になるが、寒さは残っているね。



番犬を尻目に恋猫の出陣

久松久子

何も目に入らなくなるのが恋である。それは猫とて同じこと。番犬が怖くて恋ができるか。このやるせない思いはニャンともしがたいんだよなあ。